

新型コロナウイルス感染症に係る保健所等の対応について

川口市保健所及び市新型コロナウイルスワクチン接種推進室に係る同ウイルス感染症への対応について報告いたします。

1 本市の新型コロナウイルス感染症の状況(令和4年2月24日現在)

検査実施人数	23,866人
陽性者数	26,597人
入院中	
（ホテル療養・自宅療養を含む）	2,188人
死亡者数	119人
退院	24,290人

2 新型コロナウイルス感染症における市保健所の対応

新型コロナウイルス感染拡大に伴い増大する保健所業務に対し、安定した業務が行えるように、一部業務の委託化により効率化を進めながら、体制強化を行い対応している。

① 電話相談

新型コロナウイルス感染症に関する相談、診療・検査医療機関の案内を行っている。

→ 一部委託化により回線増加などの体制の強化

② 受診調整・検体搬送

新型コロナウイルス感染症の疑いのある方に対し、帰国者・接触者外来等への受診調整を行うほか、検体回収や必要に応じた移送調整を行っている。

→ 一部委託化により移送体制の強化

③ PCR 検査

保健所において迅速にPCR検査を実施している。また、感染リスクの高い施設や集団に対しては、検査対象者の範囲を幅広く捉え検査を実施している。

→ 一部委託化により検査の拡充

④ 陽性者対応

- ・発生届の受理
- ・積極的疫学調査の実施
- ・陽性者の移送（入院・宿泊療養施設）

→ 一部委託化により移送体制の強化

⑤ 陽性者等の健康観察等

- ・自宅療養者、濃厚接触者の健康観察
- ・入院先や宿泊療養施設への病状確認
- ・自宅療養者への配食サービス及びパルスオキシメーターの貸し出し

→ 一部委託化により回線増加などの体制の強化

⑥ 自宅療養者等へ対応

入院調整している間の一時的な待機場所である「酸素ステーション」を新たに開設するとともに、パルスオキシメーター及び酸素濃縮器の貸し出しを実施している。

⑦ 報道対応

感染状況について、川口記者クラブ加盟の新聞社やテレビ局へ公表し、併せて、市ホームページへ掲載している。

3 市保健所の体制

今までの感染拡大の経験を活かし第5波を超える感染拡大を起こった場合にも、安定した運営が行えるように業務の一部を委託することや、週ごとの新規感染者数に応じた庁内の応援体制の指標を作成し、1月下旬から、フェーズ4となり最大120名を超える体制で対応している。

《人員体制》

	新規感染者（週合計）	チーム人数
フェーズ1	～160件	55人
フェーズ2	161～250件	61人
フェーズ3	251～500件	78人
フェーズ4	500～件	120人

4 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

(1) 初回（1回目・2回目）接種の状況

令和3年4月26日から、対象である12歳以上の方約56万人に段階的に接種券を発送し、5月中旬から接種を実施した。

令和4年3月から、小児（5～11歳、約3万5千人）を対象とした接種を開始する予定である。

① 接種数（令和4年1月31日時点）

ワクチン接種記録システムデータ

回数	接種人数	接種率
1回目	473,001人	86.3%
2回目	468,340人	85.4%

※ 12歳以上対象者：548,137人

② 接種体制について

一日でも早く、一人でも多くの方にワクチン接種を加速させるため、「川口モデル」を構築し、接種体制の拡充を図った。

(ア) 接種場所

・ 集団接種

令和3年5月11日から市内5か所の会場で接種を開始し、6月15日から11月末まで「旧そごう川口店」に集約して接種を実施した。

・ 個別接種

市内約140か所の個別医療機関で接種を実施した。

(イ) 医療機関への支援策

・ 個別接種に伴う臨時協力金（1回あたり）

令和4年1月31日時点

対象医療機関	区分	協力金	請求件数
診療所	県の協力金要件に該当する週	1,000円	165,769回
	県の協力金要件に該当しない週	2,000円	76,143回
病院	一律	2,000円	147,298回

※ 県の協力金要件とは、週100回以上の接種を4週間以上行なうこと

・ 接種体制の整備に対する補助

ワクチン接種を行なった医療機関を対象に、予約システムの構築・改修や、臨時スタッフの増員など、かかりまし経費が発生した場合に補助金を交付

令和4年1月31日時点

対象医療機関	接種回数	補助金 (上限額)	請求 医療機関数
病院・診療所	1,000回以上	300万円	35件
	1,000回未満	100万円	13件

・ 関係職員への特別手当等の支給に対する補助

ワクチン接種に関係する職員に特別手当等を支給した場合に補助金を交付

令和4年1月31日時点

対象医療機関	1か月の接種回数	補助金 (上限額)	請求 医療機関数
病院・診療所	3,000回以上	1,000万円	7件
	1,000回以上 3,000回未満	300万円	19件
診療所	600回以上 1,000回未満	50万円	15件
	400回以上 600回未満	20万円	9件

・集団接種会場に派遣される医師に対する協力金

平日	午前午後 4 万円	夜間 6 万円
土・日・祝日	午前午後 6 万円	夜間 8 万円

令和 3 年 11 月末時点の実績	
延べ人数	2,883 人

(2) 追加 (3 回目) 接種の状況

追加 (3 回目) 接種は、2 回目接種完了日から 8 か月以上を経過した 18 歳以上のかたを対象に、令和 3 年 12 月から開始した。その後、国から接種の前倒しの方針が示されたが、本市では重症化予防、感染予防や本市の感染状況を鑑み、1 月より、2 回目接種完了日から 6 か月を経過したかたへ順次、できるかぎり前倒して接種券を発送することとした。ワクチンは、初回接種の種類に関わらず、ファイザー社または武田/モデルナ社のワクチンを使用し、交差接種が可能となった。

① 国の接種間隔前倒しの方針

対象	令和 3 年 12 月 ～	令和 4 年 2 月 ～	令和 4 年 3 月 ～
医療従事者等や高齢者施設等の入所者等	6 か月	6 か月	6 か月
その他の高齢者 (65 歳以上のかた)	8 か月	7 か月	6 か月
64 歳以下のかた	8 か月	8 か月	7 か月

② 接種数 (令和 4 年 1 月 31 日時点)

ワクチン接種記録システムデータ

回数	接種人数	接種率
3 回目	21,578 人	4.8%

※ 1・2 回目接種済のうち 18 歳以上対象者：446,474 人

③ 接種体制について

一日でも早く、一人でも多くの方にワクチン接種を加速させるため、「川口モデル」を継続して実施することとした。

(ア) 接種場所

・集団接種

令和 4 年 1 月 18 日から「旧そごう川口店」で接種を開始した。

・個別接種

令和 3 年 12 月から市内約 160 か所の個別医療機関で接種を開始した。

(イ) 医療機関への支援策

初回（1回目・2回目）接種と同様の支援策は以下のとおり

- ・個別接種に伴う臨時協力金（※令和3年12月1日以降）
- ・集団接種会場に派遣される医師に対する協力金（※令和4年1月18日以降）